

北海教区との宣教協約、教憲・教規 遵守を明記

第32回西東京
西東京教区

教区総会は、5月24日、25日、吉祥寺教会で開催された。開会時には、208名中148名の議員が出席した。日曜日午後からの開催だが、交通の便が良くまとった地域ゆえ、各教会の礼拝後、無理なく集まることができる。

開会礼拝、組織会後、直ちに准允執行について語り准允式を行った。新たに2名の補教師が立てられ、教会、学校での働きを始める。

議長報告で真壁蔵議長は、14年度、1教会の他教区伝道所との合併、1伝道所の廃止により96教会・伝道所となったことを報告した。13年度報告に基づくこととして、教区現住陪餐会員6819名(前年比77名減)、受洗者89名(同51名減)、主日朝拝出席4071名(同174名減)、大きな教勢減は「各個教会でも既に実感しているが、開拓伝道の精神に立ち返り、時

かれたからし種の成長を信頼し祈り働くことが命じら



左から、
願念新副議長、真壁議長、
七條書記

が満たされるよう強く訴えた。15年度予算案では、前年予算比297万円減、5043万円を可決した。

先に4月30日、北海教区総会において満場一致で可

決された、両教区宣教協約が賛成多数で可決された。

審議では、今期協約文に明記された「教憲6条に定められた使命を果たすべく、

に、教団信仰告白に固く立ち、教憲・教規を遵守することを共通基盤として」の文言を巡って、どのような点を両教区が担保、実質化するのが議論され



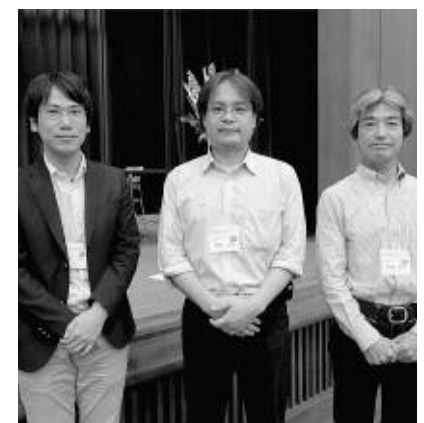
西東京

た。可決を受け締結式が行われた。16年度から興部伝道所(北海教区道北地区)支援を主とする第7期5年が始まる。

立川開拓伝道推進委員会

50周年を機に第1種教会となる決議をした。これを教区として承認した。

【書記】七條真明(高井戸)常置委員選挙結果(半数改選)



左から、鎌野新書記、
小畑新議長、西嶋副議長

常置委選挙、制限連記にて投票

第64回西中国
西中国教区

教区総会は、5月12日・13日、カリエンテ山口にて、開会時、133名中105名が出席して行われた。

ことが望ましい」等が述べられた。

また、議長は、7月末に北海教区の教会に転任することを告げ、謝辞を述べた。

「敗戦・被爆70年」に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

教区総会議長総括報告で、柴田もゆる議長が報告を明読。前総会で可決された、教団伝道資金の再考要求、沖縄教区との合同の

ことが望ましい」等が述べられた。

また、議長は、7月末に北海教区の教会に転任することを告げ、謝辞を述べた。

「敗戦・被爆70年」に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

【敗戦・被爆70年】に際して「平和宣言」を表し、軍事的支援を継続、特別会計設置を4年間延期し、教区運用資金から250万円繰り入れることが承認された。

長田センター継続で議論・可決

第69回兵庫
兵庫教区

教区総会は、5月17、18両日、兵庫県豊岡市・じばさんTAIMAにおいて教団信仰告白を唱和告白するよう通達があったが、教憲6条の誤った解釈に由来する越権行為である。③宣教基礎理論の改定第二次草案は一面の宣教理解に立っており、多様な宣教のあり方を包み込んだものを目指してほしい。④北村教師への戒規について

中161名が出席して開催された。110教会の73%が阪神・神戸地区に集中する兵庫教区では、例年、神戸で教区総会が開催されて来たが、初めて但馬地区での開催となった。

菅根信彦議長は、11頁に及ぶ長文の議長報告で、「長

を求める」と報告した。さらに、伝道資金について、「教区間隔差を拡大させ、小規模教区の宣教、伝道の歩みを止めてしまいかねない」と反対を表明したが、教区財政を考慮し、今回は現実的対応を行う。伝道資金制度を改正し、本来の「連帯・互助」が生かされる新制度を検討して行く」と述べた。

議長報告に基づく准允・按手執行議案を可決し、2

日目午後議長1人による、信仰告白抜き

2日間の総会を通して、常置委員会提案議案が、挙手多数可決で淡々と進む中で、ただ一つ議論の展開されたのが、「被災者生活支援・長田センター」の働きに



兵庫



但馬地区を会場に総会を開催

き、信仰の働きという視点に立てば理解できる苦」と

は、対話的に解決に向かう

菅根信彦議長は、11頁に及ぶ長文の議長報告で、「長

を求める」と報告した。さらに、伝道資金について、「教区間隔差を拡大させ、小規模教区の宣教、伝道の歩みを止めてしまいかねない」と反対を表明したが、教区財政を考慮し、今回は現実的対応を行う。伝道資金制度を改正し、本来の「連帯・互助」が生かされる新制度を検討して行く」と述べた。

議長報告に基づく准允・按手執行議案を可決し、2

日目午後議長1人による、信仰告白抜き

2日間の総会を通して、常置委員会提案議案が、挙手多数可決で淡々と進む中で、ただ一つ議論の展開されたのが、「被災者生活支援・長田センター」の働きに

二三読会方式で丁寧な議論

東海教区

第98回東海
教区総会は5
月19、20日、甲府富士屋ホ
テルを会場として開催され
た。開会礼拝では「あなた
がたは世の光」(マタイ5・
13、16)と題し説教がなさ
れ、聖餐式が執行された。
開会時出席正議員は205
名中152名。

第一読会では、松木田博
議長から「議長報告」にお

いて教区・教団の諸重要事
項に伴い、伝道の主体であ
る教会とその内容を明確に
すべく「東海教区五ヵ年伝
道方策」より、教会を構成
する教職、信徒の信仰生活
を整えていく必要性が語ら
れた。「伝道について」「伝
道資金の運用について」等
の質疑があり、松木田議長
は「教会が主の御言葉によ
って整えられ、福音を伝え

る主体となつて形成されて
いくこと、福音に立つこと
だけに集中する。今はそれ
が大切」第39回教団総会
で「伝道資金規則」が可決さ
れたので、これに従い、伝
道のために活用していく」
と答えた。また「教団信仰
告白において聖書は神の言
葉であり、個々の教会に個
別に示されるものではない
く、聖なる公同の教会に聖

書の啓示がある」との指摘
が議長よりなされた。

その後、雲然俊美教団書
記問安使挨拶により「信仰
の一致の中での多様性」東
日本大震災救援募金の用い
方「伝道資金」「沖縄問題
について」等を巡って質疑
応答がなされた。

また、教団出版局・山北
宣久理事長、教団年金局・
櫻井淳子業務室長、東北教
区・小西望議長からそれぞ
れに挨拶・報告がなされた。
特に東北教区19の被災教会
が会堂・牧師館工事を完了
したが、そのうち15の教会
が今後20年かけて返済をし
ていかなければならないこ
と、東北教区放射能問題支
援対策室「いずみ」が継続
されること等が強調され
た。

第二読会では三つの分科会
に



に分かれ、議案審議を行っ
た。第一分科会は伝道部事
業計画、教育部事業計画、
社会部事業計画、「教区通
信」事業計画について。伝
道部「第29回信徒修養会主
題、社会部「委員会」活
動については修正案が提
出された。第二分科会は2
014年度決算報告承認に
関する件、残金の処分に関
する件、会計監査報告、2
015年度予算承認の件に
ついて。第三分科会は部落
差別問題特別委員会事業計
画について。



准允式を執行、新たな教師が立てられる

【議長】松木田博(甲府)、
【副議長】宮本義弘(沼津)、
【書記】本城仰太(松本東)、
【伝道委員長】宇田真(岩
村田)
常置委員選挙結果
【信徒】稲松義人(遠州栄
光、八嶋由里子(沼津)、
茅野眞澄(山梨)、黒沼宏
一(静岡)
(松本のぞみ報
田田)
【信徒】稲松義人(遠州栄
光、八嶋由里子(沼津)、
茅野眞澄(山梨)、黒沼宏
一(静岡)
(松本のぞみ報
田田)



主任担任教師

15年2月27日逝去、62歳。
静岡県に生まれる。89年農
村伝道神学校卒業。同年よ
り大台めぐみ、久居新生、
福井神明、中標津伝道所を
牧会。

遺族は息・稲葉義也さん。
松田一路氏(隠退教師)

宣教委員会

宣教方策会議開催を準備

4月13日、14日、教団会
議室において、第39総会期
第1回宣教委員会が開催さ
れた。

今総会期の委員として招
集されたのは宣教委員会の
もとにある常設専門委員会
委員長を含めて次の通り。
米倉美佐男(招集者・札幌)、

清藤淳(和歌山)、堀真知
子(瀬戸キリスト)、釜土
達雄(七尾)、古澤啓太(神
戸東部、北川善也(洛北)、
古澤永(愛知)、成田い
し(盤上・伝道)、具志堅
篤(読谷・教育)、芳澤信
(真和志・社会)。これら
10名の委員に加えて、自主

活動団体からの常時陪席者
として、全国婦人会連合よ
り渡辺多恵子(十貴坂・信
徒、全国教会幼稚園連絡会
より古屋博規(軽井沢)、
日本キリスト教保育所同盟
より石井錦一(松戸)の3
名、そして担当幹事の大三
島義孝が加えられ、今総会
期宣教委員会を構成する。

開会にあたり、招集者の
米倉委員の導きにより礼拝
が献げられ、み言葉のもと
にある委員会として始めら
れた。委員の互選により委
員長に、招集者の米倉委員、
書記に清藤委員を選出。「障
がい」を考える小委員会委
員長に堀委員、古澤委員を
担当委員とし、その他協力
委員を次回委員会に挙げる
こととした。

協議を進めるにあたり、
各委員の自己紹介、宣教委
員会への抱負が語られ、ま
た教規41条、および全総会
期からの申し送り事項にも

つき委員会

その他、伝道推進室から
なされた幼保一体化を巡る
提言を受け止めていくこと
としたほか、いくつかの課
題を確認しつつ委員会を終
えた。



後列左から、加藤幹事、村山委員長、廣中職員
前列左から、岸書記(兼務・韓国)、スクルマン
委員長(台湾)、横山委員長(スイス)

15年4月2日逝去、92歳。
福岡県に生まれる。45年日
本基督教神学専門学校卒業。
47年より世貞留、羽犬
塚、天草平安、日和佐、西
伯法勝寺教会を経て、88年
に隠退。
遺族は娘・松田みくにさ
ん。

韓国・台湾・スイス協約合同委員会

二三委員会合同で共通の課題を

教規46条の2には世界宣
教委員会の働きが規定さ
れ、(4)として、その下に
ある6つの委員会を定めて
いる。

そのうちの3つは韓国、
台湾、スイスの教会や宣教
団体との協約のための委員
会である。教団はその協約
によって、それぞれの教会
の教職を宣教師として迎
え、教団の教師と同等の働
きを委ねている。また、そ
れぞれの教会に対して派遣
する宣教師も同様である。

これら3つの委員会は相手
国の違いはあれ、扱う内容
が等しいこともあり、委員
会を合同で開催、委員もま
た、それぞれを兼任するこ
という提案が前総会期の世界
宣教委員会からの申し送り
に基づき決議された。

【台湾関連】千葉台湾教会
が現在無牧であることに契
機とし、台湾教会の人事を
めぐって、招聘制の秩序、
台湾教会の特殊性、台湾基
督長老教会との関係性を視
野にいれて意見交換がなさ
れた。また、台北にある国
際日語教会の蔡裕榮長老

【韓国関連】教団は現在、
韓国の3教会(イエス教長
老会統合派、キリスト長老
会、キリスト教大韓監理会)
と協約を結んでいるが、締

【台湾関連】千葉台湾教会
が現在無牧であることに契
機とし、台湾教会の人事を
めぐって、招聘制の秩序、
台湾教会の特殊性、台湾基
督長老教会との関係性を視
野にいれて意見交換がなさ
れた。また、台北にある国
際日語教会の蔡裕榮長老

【韓国関連】教団は現在、
韓国の3教会(イエス教長
老会統合派、キリスト長老
会、キリスト教大韓監理会)
と協約を結んでいるが、締



後列左から、古屋、具志堅、古澤、古澤、北川、
渡辺、芳澤、成田、大三島幹事
前列左から、石井、清藤書記、米倉委員長、
釜土、堀

活動団体からの常時陪席者
として、全国婦人会連合よ
り渡辺多恵子(十貴坂・信
徒、全国教会幼稚園連絡会
より古屋博規(軽井沢)、
日本キリスト教保育所同盟
より石井錦一(松戸)の3
名、そして担当幹事の大三
島義孝が加えられ、今総会
期宣教委員会を構成する。

開会にあたり、招集者の
米倉委員の導きにより礼拝
が献げられ、み言葉のもと
にある委員会として始めら
れた。委員の互選により委
員長に、招集者の米倉委員、
書記に清藤委員を選出。「障
がい」を考える小委員会委
員長に堀委員、古澤委員を
担当委員とし、その他協力
委員を次回委員会に挙げる
こととした。

協議を進めるにあたり、
各委員の自己紹介、宣教委
員会への抱負が語られ、ま
た教規41条、および全総会
期からの申し送り事項にも

つき委員会

その他、伝道推進室から
なされた幼保一体化を巡る
提言を受け止めていくこと
としたほか、いくつかの課
題を確認しつつ委員会を終
えた。

【台湾関連】千葉台湾教会
が現在無牧であることに契
機とし、台湾教会の人事を
めぐって、招聘制の秩序、
台湾教会の特殊性、台湾基
督長老教会との関係性を視
野にいれて意見交換がなさ
れた。また、台北にある国
際日語教会の蔡裕榮長老

【韓国関連】教団は現在、
韓国の3教会(イエス教長
老会統合派、キリスト長老
会、キリスト教大韓監理会)
と協約を結んでいるが、締

【台湾関連】千葉台湾教会
が現在無牧であることに契
機とし、台湾教会の人事を
めぐって、招聘制の秩序、
台湾教会の特殊性、台湾基
督長老教会との関係性を視
野にいれて意見交換がなさ
れた。また、台北にある国
際日語教会の蔡裕榮長老

事務局報

教師異動

小樽公園通辞代)塩見耕一	就(主)白崎智之
北広島	辞(主)加藤孔二
金沢長町	辞(主)佐藤誠司
福井神明	辞(主)加藤孔二
北陸学院中学校	就(主)佐藤誠司
就(主)矢澤勲太	
辞(主)小椋実央	
知立	
豊田	就(主)中村 告
幸町	就(主)丸田久子
信天	辞(主)池田春善
下田	辞(主)佐藤秀吉
小石川明星	就(主)丸田久子
片倉	就(主)高田昌和
就(主)大宮克己	
就(主)坂井賢治	
就(主)長谷川直紀	
就(主)清島恒徳	



毎週木曜日に開かれる「賛美と祈りの会」(左、武牧師)

神のなさることはいつも「向こう側」からやって来ます。
勿来教会の「東日本大震災4周年記念 礼拝も、向こう側からやって来ました。」2015年3月8日その朝、礼拝の開始を告げるオルガンの音が小さな会堂に流れました。被災地の教会のために、祈りをこめて準備された「奉唱」が捧げられ、そして神の言葉が告げられました。「しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力つけてやりな

伝道報告

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

伝道の
ともしび
TOMOSHIBI

神のなさることは向こう側から来る

勿来教会牧師 武 公子

さい(ルカ22・32)。説教者・松本周牧師で自身、あの原発事故直後20日目にして現地に入り最初に訪れたのが、この勿来教会であったこと告げ、傷ついた会堂の前で祈る言葉さえ失い立ち尽くしたことを証しされました。

震災以来毎年、いわき市にある日本基督教団の3教会(勿来、常磐、磐城)のために説教奉仕、そして音楽奉仕が続けられて来ましたが、勿来教会は、昨年教会員の手でホームページを立ち上げました。この日、礼拝案内を見たという2

人の新来会者がみえました。うち1人は、震災前後から自分の信仰生活がいかにけんになりがちで、こんなことでいいのだろうかと思問していた矢先、イエス様の言葉は、まっすぐに彼女の心に届きました。この日以来、礼拝はもとより、「聖書を読む会」や「賛美と祈りの会」に出席されています。

いわき市は、今では何事もなかったように復興ムードに沸いています。一方で、原発事故によるいわゆる帰宅困難区域、居住制限区域等から2万4千人を超える人

たちが移住してきています。ですから、先行きが見えず取り残されている人々がいるのも現実です。富岡町から避難している友人家族は、やっと2017年3月に自宅の除染が終わるというので、そうしたら故郷に戻りたいと申しています。仮設住宅に入れないかった人たちは、それぞれアパートを借りて生活していますが、町民がバラバラになりコミュニケーションがとれず、知らない町で孤立し不安な日々を過ごしています。彼らの苦悩に寄り添うように常磐教会は、コミュニティの場として会堂を提供して感謝されています。

勿来教会は、2009年に藤田眞佐子牧師が逝去され、大震災と続く混乱の中で留まり続けたのは信徒2名でした。お蔭で勿来教会の灯は消されずにすみました。2012年わたしは希望して赴任させていただきました。しかし、荒れ野の試みの中で、神様より人間的なものに頼っては、何度も行き詰まりを経験しました。しかし、そのような失敗を通して、神様に救いを求めると速やかに「向こう側」から来る信仰を教え

てくださいました。「お前たちは、立ち帰って静かにしていれば救われる。安らかに信頼していることにこそ力がある」(イザヤ30・15)。神のなさることは、いつも良いもので、「向こう側」からやって来ました。そのことを何度も見させていただきました。

日本キリスト教会館 耐震・改修工事起工式

5月28日、日本キリスト教会館耐震・改修工事起工式が会館玄関ロビーで行なわれた。関係団体から37名の出席があった。

式辞において長崎哲夫総幹事は「東日本大震災発生時、会館5階の東京教区事務所にて建物強度に強い危機感を覚えた。この地震が今回の会館耐震・改修工事を発起するきっかけとなった」と語り、1950年、教団事務所を銀座・教文館一室に移転し、1970年10月に現会館が完成するまでの歴史から、会館設立の精神が日本におけるエキュメニカルセンター建設にあつたことを語った。

「当初25団体が権利を分有してはじまり、現在は10団体と減ったものの、なお各団体がオーナーとして権利を有する。今回の改修工事決定に至るまで、企てゆえ必然として負わなくてはならない試練があった。また今後もあるであろう」と語った。

イエス・キリストにおける同志の人々が再びここに帰り、日本のエキュメニカルセンターの拠点に結集するよう呼びかけた。15年6月から16年2月末までの予定で、工事費2億7500万円の耐震工事に着工した。

(新報編集部報)



拠点への結集を呼びかける長崎総幹事

日本キリスト教会館 耐震・改修工事期間について

以前よりお知らせしてありますように、2015年6月1日より、日本キリスト教会館は耐震・改修工事を着工しました。2016年2月末、完成の予定です。

工事期間中、会館への出入りは原則禁止となります。

詳細については、教団事務局総務まで、お問い合わせ下さい(Tel 03-3202-0541)。



藤崎 令子さん

北の国から瀬戸内へ



北海道函館生まれ。夫・盛清さんと共に。香川豊島教会員。

発した時期もあったようだが、自然な流れで1年後のペンテコステに受洗した。

現在、島キッチンのお手伝いをしていて。島キッチンは、2010年から3年に一度行われる瀬戸内国際芸術祭にあわせて作られたレストランである。地元の人々が野菜を使った料理を食すことができる。できるだけ安全な食材を使うという、本来の希望がかなった形だと思われる。芸術祭開催中は、人口900人の島で、一日4000人の来客を迎え、もてなしたこともあるそうだ。

豊島は世帯数も少ないため、島の人が、一日4000人の来客を迎え、もてなしたこともある。豊島は世帯数も少ないため、島の人が、一日4000人の来客を迎え、もてなしたこともある。豊島は世帯数も少ないため、島の人が、一日4000人の来客を迎え、もてなしたこともある。

豊島で農民福音学校を開いた藤崎盛一氏の息子である盛清さんと結婚し、クリスチャンの藤崎一族に囲まれたため、多少反

このペンテコステにも小学生の信仰告白式が行われた。教会と信仰の家庭に育まれ、聖霊に導かれて、年若い兄弟が教会の信仰をしつかりと告白した。本人がその意志を明らかにしてからこの日まで、多くの人々の祈りに支えられ、牧師と一対一で行う毎週の学びを一年以上続け、幹事会の面接も緊張の中で受けて、喜びの日を迎えたのである。唯々聖霊の導きに感謝し、教会は成長を祈っている。

牧師との勉強会はお半年続く。彼が初めての聖餐に与る時、恵みの座に跪く人々の中に膝や足の

わってゆく。それらの方々に混じって跪く年若い兄弟姉妹、彼らは共に一つの信仰を告白し、世代や状況を超越して神の国の一員であることを喜ぶ。そして将来に亘る聖

聖霊の導きと 聖餐の恵み

霊の導きを願っている。寒に様々な人々が聖餐において一つの群れとされ、共に礼拝を為してゆくのであるが、そこに求道者として身を置かれる人々に対し、聖餐が大きな証しとなることを祈っている。この人々の中に何が起っているのか。いや、神によって起こされているのか。自分にもその出来事は起こるのか、その問いが示され、聖霊が豊かに降ることによって信仰が与えられるよう真剣に祈るのである。その意味で聖餐の司式は祈り続ける時となる。

(教団総会副議長 佐々木美知子)